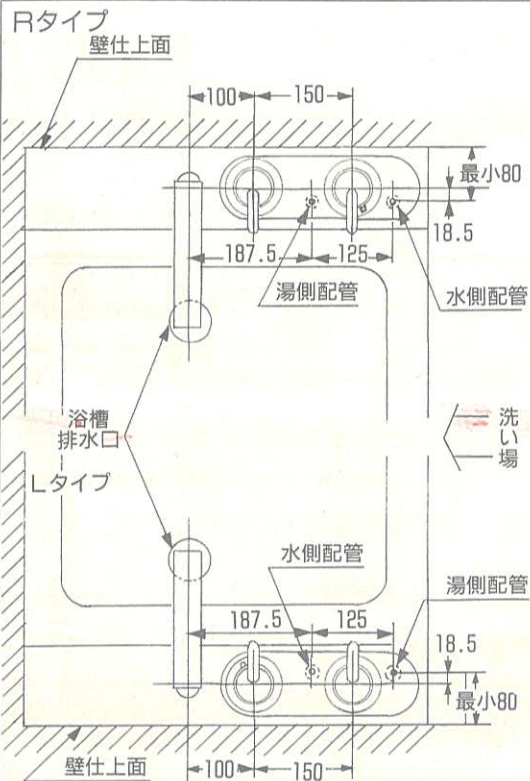
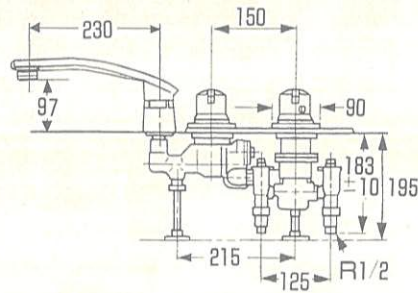


TBF41ARX (Rタイプ)
TBF41ALX (Lタイプ)

図はRタイプです。



洗い場から見て右側に設置するものをRタイプ、左側に設置するものをLタイプとしていますので、施工前によく確認してください。

- 給湯機が着火する下限の圧力とする。
- 水温の高い(25°C)夏期に着火させることを想定。
- ※能力手動切替タイプで、水温が高く、着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。
- b) 比例制御タイプの場合
 - 出湯温度は60°Cに設定
 - 水温の低い(5°C)冬期に約10L/minの吐水量を確保するのに必要な圧力とする。

(2)貯湯式給湯機と組み合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力…0.05MPa
最高圧力………0.6MPa

※給水圧力が0.6MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.20MPa程度に減圧してください。

※給湯圧力は給水圧力より高くないよう設定してください。

2. 給湯温度は使用する温度より10°C以上高くしてください。ただし、約70°C以上の温水は出ないようにしています。

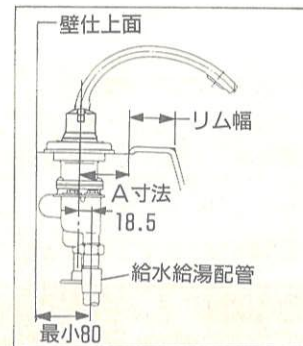
3. 給湯に蒸気を使用しないでください。

なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

下 準 備

1. 取付位置の決定

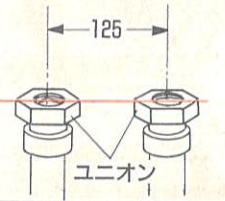
浴槽種類	浴槽 リム幅	浴槽リムとの すき間 A寸法
FBS1200 FBS1300他	70	60~130
PMW1090 PMW1092R/L他	90	60~110
PMW1190 PMW1192R/L他	100	60~100
PMW1290 PMW1292R/L他	110	60~90



3. ユニオンの接続

プラグを外し、
同梱のユニオンを
接続してください。

同一レベルにする



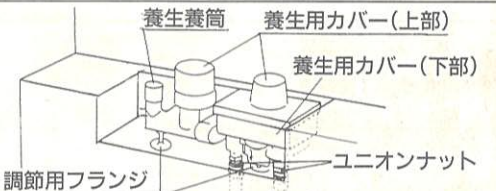
器具の取付け

1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみや砂などを完全に洗い流してください。

2. 器具の接続

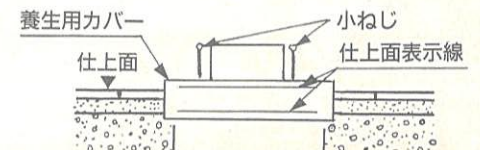
調節用フランジ(2ヶ所)でカウンター仕上面とのレベル調整したのちユニオンナットを締付けてください。



本体を支えるものですから、固定する必要はありません。

3. 埋込配管部に通水して器具接続部分からの漏水の有無を点検してください。

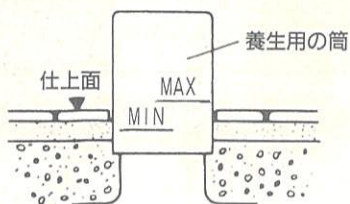
4. タイル仕上げ



タイル仕上げ後にねじを外し、養生用カバーを引抜いてください。

サーモスタット混合栓施工説明書

この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。



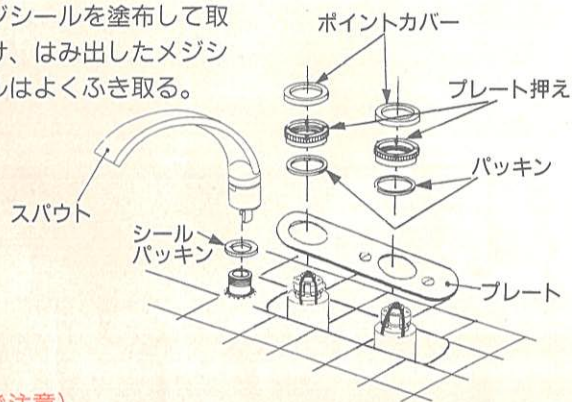
養生用の筒に記入してある仕上範囲内に納まるように、
タイル仕上げをしてください。
養生用の筒の内側に、モルタルなどが入り込まないように
注意してください。

5. スパウト・プレート・ポイントカバーの取付け

ハンドル取付用ブッシュに張付けているテープをはがして、
下記の手順で取付けてください。

※メジシール塗面

タイル目地のくぼみから
水が入り込まないように
メジシールを塗布して取
付け、はみ出したメジ
シールはよくふき取る。

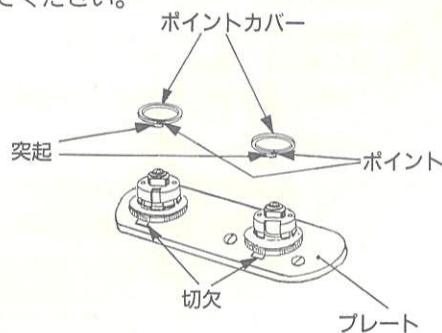


(ご注意)

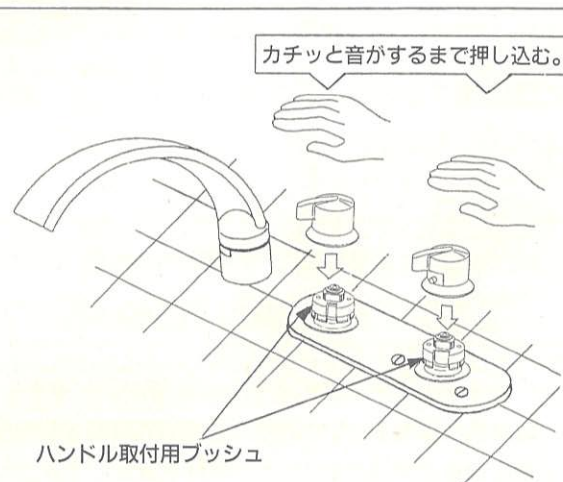
ブッシュの位置はあらかじめ調整されていますので、ハン
ドル取付け前に回さないで下さい。

※ポイントカバーの取付け

ポイント真下の突起を、プレートの切欠に合わせてはめ
込んでください。



6. ハンドル取付け



ハンドルははめ込み式になっていますので必ず“カチッ”
と音がするまで押し込んでください。

※ハンドルを取付ける前に、ハンドル取付用ブッシュが小
ねじでスピンドルに固定されていることを確認してくだ
さい。

温度調節

工場で温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況などによ
って、目盛どおりの吐水温度にならない場合があります。
その場合には、「取扱説明書」の温度調節の方法(11ページ)
をご参照になり、温度調節を行ってください。

最大設定量の調節

この器具は目盛300(約300L)まで設定できますが、浴槽の
適量目盛以上、設定ハンドルが回らないように最大設定量の
調節をすることができます。お客様のご希望で最大設定量の
調節をするときは、「取扱説明書」の最大設定量の調節方法
(8、9、10ページ)をご参照ください。尚、工場出荷時は
目盛を250に設定しています。

吐水口部網の掃除

スパウト先端の吐水口部の網にごみが詰ると、吐水状態が
乱れることがあります。

TBF41RX、LXの場合は、「取扱説明書」の15ページを
参照して掃除をしてください。またお客様にも網の掃除方
法についてご指導ください。

ストレーナの掃除お手入れ

ストレーナがつまると流量が少なくなったり、水又は熱湯し
か出なくなるなど十分な機能が発揮されなくなります。器具
取付後は、必ずストレーナを掃除してください。

「取扱説明書」の、13、14ページを参照してお客様にスト
レーナの掃除及びお手入れの方法、止水栓の位置と操作方
法をご指導ください。

分解と点検

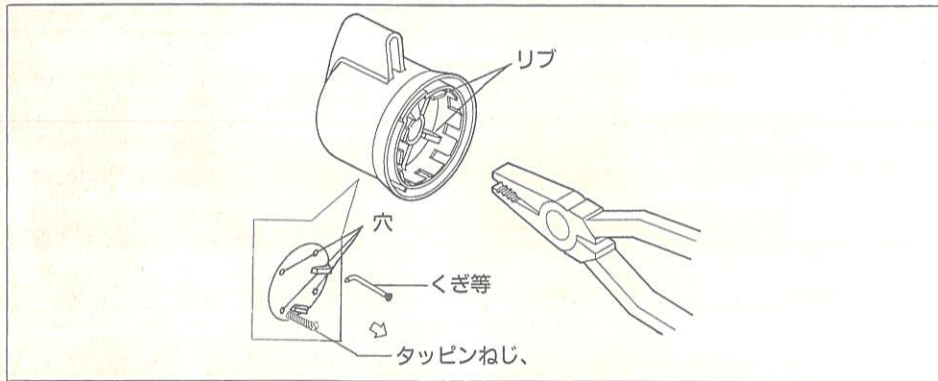
取付後万一故障などで分解するときは、次の要領で行ってください。

故障とその点検項目	
故障	点検項目
流量が少ない	1・2
高温しか出ない	1・2・6・7・8
低温しか出ない	1・2・6・7
目盛と湯の温度がちがう	1・2・6・7・8
水が止まらない	3・4・5

(ご注意)

ハンドル取付けの際は、必ずハンドル取付用ブッシュをスピンドルに小ねじで固定した後、取付けてください。ハンドル取付用ブッシュを先にハンドルに取付けると、ハンドルが確実に固定できなくなります。

誤って取付けた際には、ハンドル取付用ブッシュ内側のリブ(4ヶ所)をプライヤー等でひっぱるか、穴にタッピンねじ等をたて、ひっぱって外してください。



定量機能が故障し、湯水が止まらないなど、緊急を要するときは下図の要領で止水栓を閉めてください。

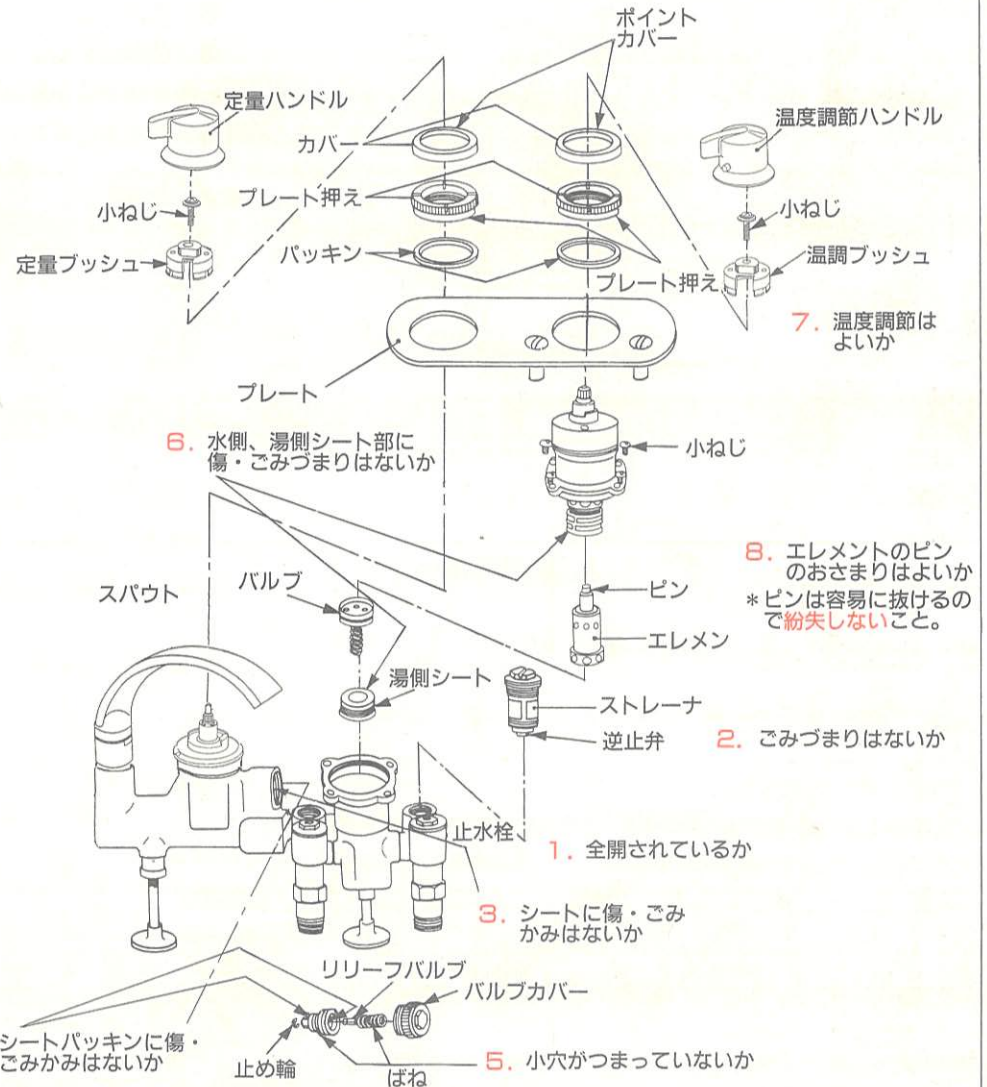
1. 付属の開閉工具で止水栓キャップを外す。



2. 奥までマイナスドライバーを差込んで止水栓を閉める。



※図はTBF41RXを分解した場合を示しています。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。手渡しできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。